

ダイバーシティへの取り組み

多様な人材が活躍する環境

キーワード：グローバル, ダイバーシティ, 人材

海外事業推進部 ハスバートル

はじめに

アジア航測は、グローバル企業を目指すため、前中期経営計画（68期～70期、2014～2016年）から Globalization（グローバリゼーション）を全社の基本方針の一つとしてあげました。そして、現在の中期計画（71期～73期）の中では、長期ビジョンの実現のための4本柱の一つとしても、グローバリゼーションをあげ、海外市場へ向けての飛躍を目指しております。グローバリゼーションの推進のためには、それに適した人材の確保、多様な価値

観を包容できる環境が不可欠です。

アジア航測は、世界情勢や日本国内の経済状況の変化を踏まえ、より一層グローバリゼーションを目指し、現在様々な取り組みをしております。その中で、外国籍社員の獲得と外国籍の社員が働きやすい環境を整備が一つの課題です。本稿では、アジア航測が推進しているダイバーシティへの取り組み状況、特に外国人材の活用していることを紹介します。

外国籍社員の採用拡大

アジア航測の外国籍社員は、この数年概ね増加の傾向にあります。図1には、アジア航測の68期から72期までの外国籍社員の採用状況を示しました。69期から年々増加傾向にあることが分かります。現在、アジア航測に在籍している外国籍（日本国籍を取得した社員を含まない）の社員が19名おり、社員全体の約2%を占めております。これらの外国籍社員の出身国・地域から見ると（図2）、全9つの国や地域の中で、中国籍が7名と最も多く、その次が韓国籍の3名で、インドネシア、スリランカ籍がそれぞれ2名、ネパール、ミャンマー、台湾、ジンバブエ、フランス籍が各1名になります。このように、外国籍の社員は、アジア地域だけではなく、アフリカ、ヨー

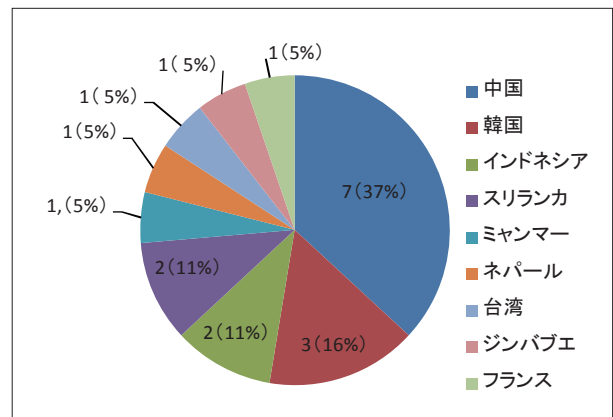


図2 出身地別外国籍社員数

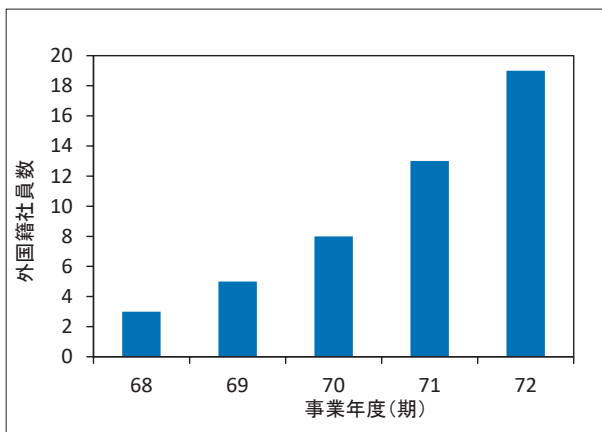


図1 事業年度と外国籍社員の採用状況

表1 出身地別の外国籍社員

地域	言語
アジア	日本語
	中国語
	韓国語
	モンゴル語
	ミャンマー語
	ネパール語
ヨーロッパ	英語
	フランス語
	ドイツ語
	スペイン語
アフリカ	ロシア語
	シヨナ語

ロッパからの社員もおり、実に多様性に富んだ人材を保有しています。これによって、アジア航測では、日本語、英語に加え、表1に示したように、様々な言語を操り、ビジネスに生かしております。

これらの人材の多くは日本に留学し、日本で学位を取得しております。その中に、9名が博士号、9名が修士号を所有しており、とても高い学歴の集団です。これらの人材は、現在アジア航測の空間情報、コンサルティング

（防災、道路、海外事業などの分野）や研究開発など様々な分野で活躍しています。また、海外事業においては、現地駐在、政府間援助プロジェクト、国際プロジェクトに従事するなど、幅広く活躍しています。

今後、アジア航測のグローバル化の推進につれ、外国籍社員の活躍する場面が更に増えると推測されます。そのため、アジア航測の外国籍社員獲得を含めた多様性のある人材戦略は不可欠です。

GTAの活動

外国籍の社員が増えるにつれ、彼らとの交流や仕事に対する悩み、日本における生活面での悩みなどについて意見交換を進めるため、2017年にGTA（Global Team of AAS）を設立しました。これは、アジア航測の小川社長、経営企画部の提案で実施したものです。GTAでは、外国籍社員の母国における状況、ビジネス展開の可能性、その手法等について紹介したり、また会社に対する意見交換、悩み相談など、交流の場として定期的に交流会を開催しています。交流会には、外国籍社員だけではなく、

小川社長や、社長室、経営企画部などの関係部署から関係者が参加しており、建設的な議論が行われております。

GTAの活動を通じて、外国籍社員の交流だけではなく、日本人社員の国際意識も高めることができます。特に若い世代の海外志向が減少している社会状況で、外国籍社員との交流を通じ、異なる価値観、文化に触れ、グローバルなビジネスを考えるひとつのきっかけになると思います。今後も、GTAの活動を推進し、全社のグローバル化に貢献したいです。

働きやすい環境の整備

アジア航測では、外国籍社員が増えるなど多様性に対応するため、社内における働きやすい環境の構築に力をいれております。その中の一つとして、社内規定など社員向け書類、手続きの英語版の作成です。これまでは、社内公式文書は全て日本語でした。しかし、これでは日本語を母語としない社員がその内容を十分理解できない可能性もあります。そこで、人事法務課が中心に、72期から社内公式文書の英語化に着手し、現在重要な文書の

英語化が完成しております。今後は引き続き関係書類の英語化を完成させる計画です。

働きやすい環境の整備のもう一つの取り組みは、外国籍社員を対象に相談窓口として、サポート室を設けたことです。外国籍の社員が、生活や仕事の中において悩み、問題・課題があれば気軽に相談できる環境が出来たことにより、誰もが安心して働けるように、会社が心かけた取り組みです。

おわりに

上述のように、アジア航測は全社グローバル化を進めており、今後海外展開を加速化させるため、多様性に富んだ人材の活用、育成、獲得が必要です。そのなかで、まず、現在いる人材を如何に活躍させるのが課題です。外国人籍の社員は、アジア航測の海外展開において欠かせない人材です。外国人籍の社員が当社において安心して仕事ができ、会社のグローバル化に貢献してもらうために、多様な社員が働きやすい環境の構築が必要です。

当然ながら、外国籍の人材を入れるだけでグローバル化が進むわけではありません。日本人社員の参画も重要です。会社で大多数を占める日本人社員が、外国籍社員との交流は、日本人と異なる考え方、価値観を共有し、日本社会がおかれている状況についても異なる観点から見るきっかけにもなります。

アジア航測のダイバーシティへの取り組みが、全社の国際化に貢献できるように引き続き推進して参ります。